

個人投資家向け会社説明会

長瀬産業株式会社

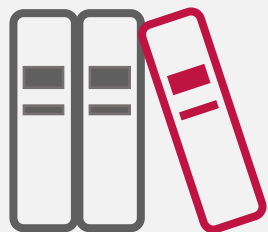
証券コード:8012

見たことのない
景色へ。

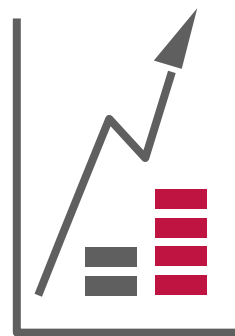
1. 長瀬産業とは？
2. 成長戦略「中期経営計画 **ACE 2.0**」(2021-25年度)
3. 株主還元

1. 長瀬産業とは？
2. 成長戦略「中期経営計画 ACE 2.0」(2021-25年度)
3. 株主還元

数字で見るNAGASEグループ



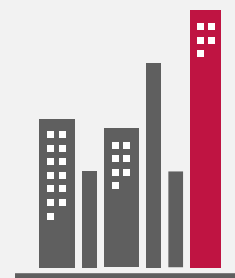
創業
1832 年



連結売上高
7,805 億円

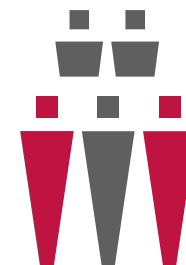
海外売上総利益比率
49 %

自己資本比率
47 %



拠点数
32 114
力国・地域 社

取引企業数
約 **18,000** 社



連結従業員数
7,113 名



NAGASEグループは

ビジネスデザイナー

商社機能に加え、製造・研究・バイオ・DXなどの機能を
掛け合わせてパートナーとともに事業を創り出す企業集団

事業創造の歴史1/3



1832年～ 染料の取り扱いから化学領域へ

1832年 長瀬伝兵衛が京都・西陣で紅花などを扱う「鱗形屋」を創業

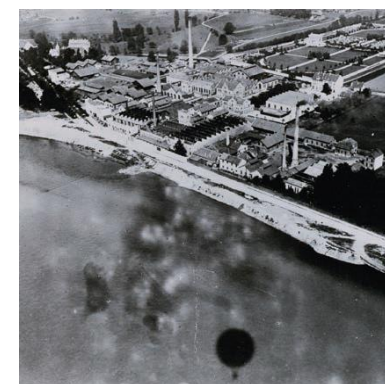


初代:長瀬伝兵衛

1900年～ 海外有力メーカーとの取引開始

1900年 バーゼル化学工業社(チバ社)との取引を開始

以降イーストマン・コダック社、デュポン社、ゼネラルエレクトリック社等の
大手メーカーとのパートナーシップを拡大



1893年当時のチバ社全景

事業創造の歴史2/3



1970年～ 国内外に支店、法人を設立、アジアを中心に基盤強化

1971年 香港、アメリカに現地法人を設立

現在、販売・サービス会社は30カ国・地域に64社



ニューヨーク五番街
(現地法人設立当時)

1970年～ 製造・加工、研究開発機能を強化

1970年 チバ社との合併会社を設立しエポキシ樹脂を製造
(現・ナガセケムテックス)

1990年 バイオ関連の研究開発拠点ナガセR&Dセンターを設立
(現・ナガセバイオイノベーションセンター)

現在、製造・加工会社は16カ国・地域に50社



ナガセケムテックス



ナガセバイオ
イノベーションセンター

事業創造の歴史3/3



2010年～ 食品素材ビジネスを本格化

2012年 林原を買収

2019年 Prinovaグループを買収



林原



Prinovaグループ

2017年～ DXを活用した次世代ビジネスを創出

2017年 NVC(New Value Creation)室を設置

2020年 米国 IBM 社と共同開発した、AIを活用した新材料探索プラットフォーム「TABRASA®」をリリース



2020年～ サステナビリティを推進

2020年 サステナビリティ推進委員会を設置

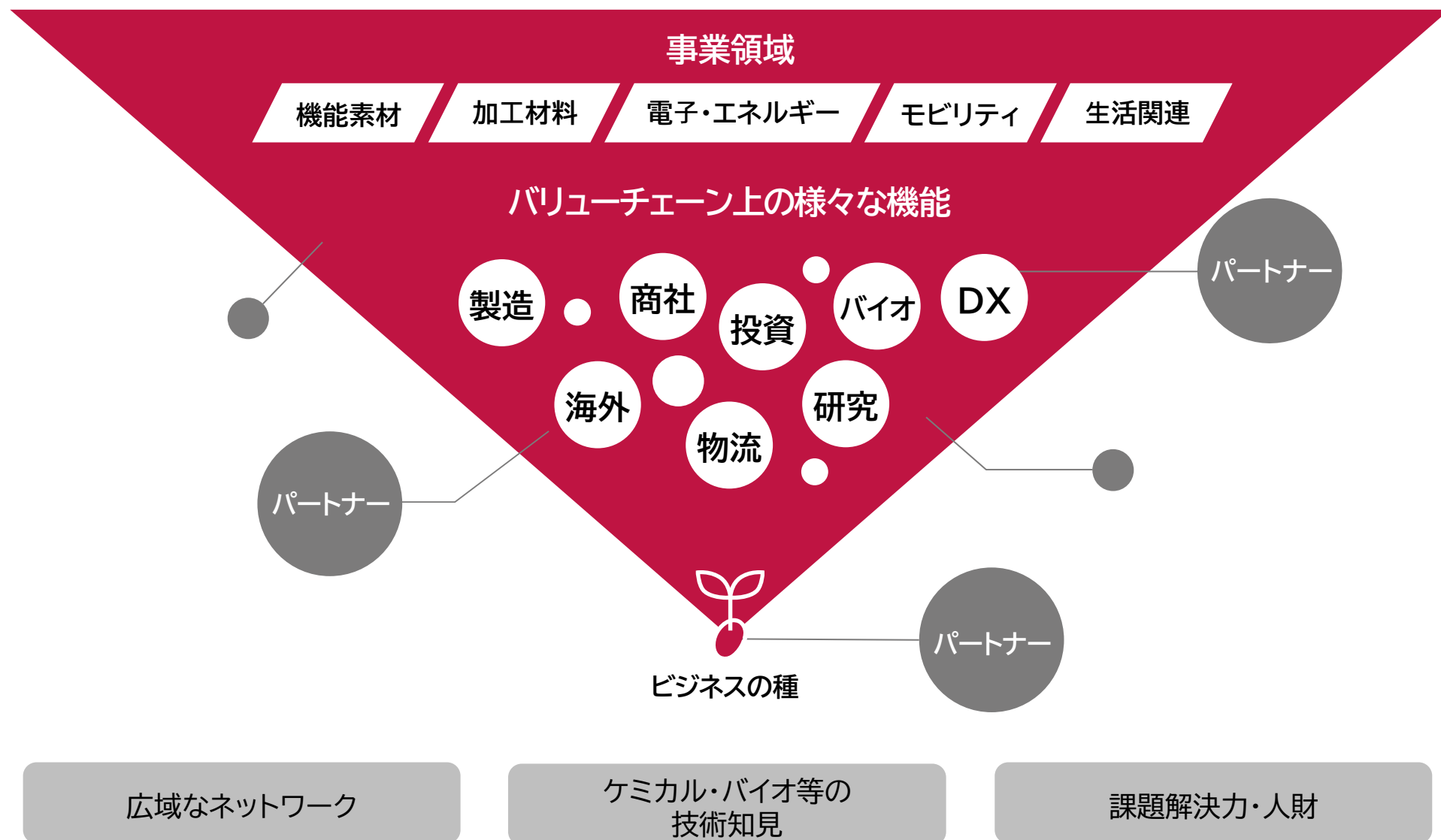
2021年 ゼロボード社と協業し、CO2排出量可視化クラウドサービスを展開



NAGASEグループのビジネスモデル

190年で培った強みを基盤に、ビジネスの種を「見つけ、育み、広げる」

ビジネスデザイナー



化学品・食品素材等を扱う5つのセグメントにおいて、
様々な業界の川上から川下まで幅広く事業を展開

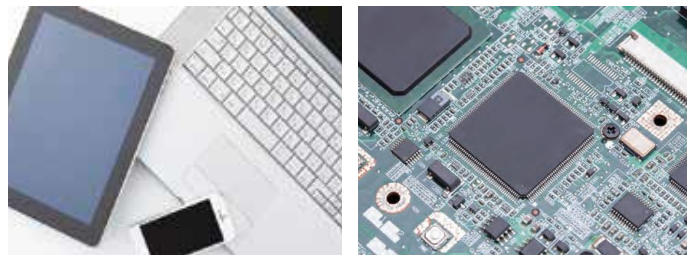
機能素材



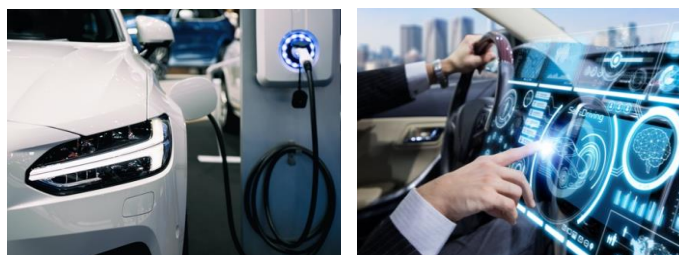
加工材料



電子・エネルギー



モビリティ



生活関連



事業領域

機能素材

加工材料

電子・エネルギー

モビリティ

生活関連



事業領域

機能素材

加工材料

電子・エネルギー

モビリティ

生活関連



事業領域

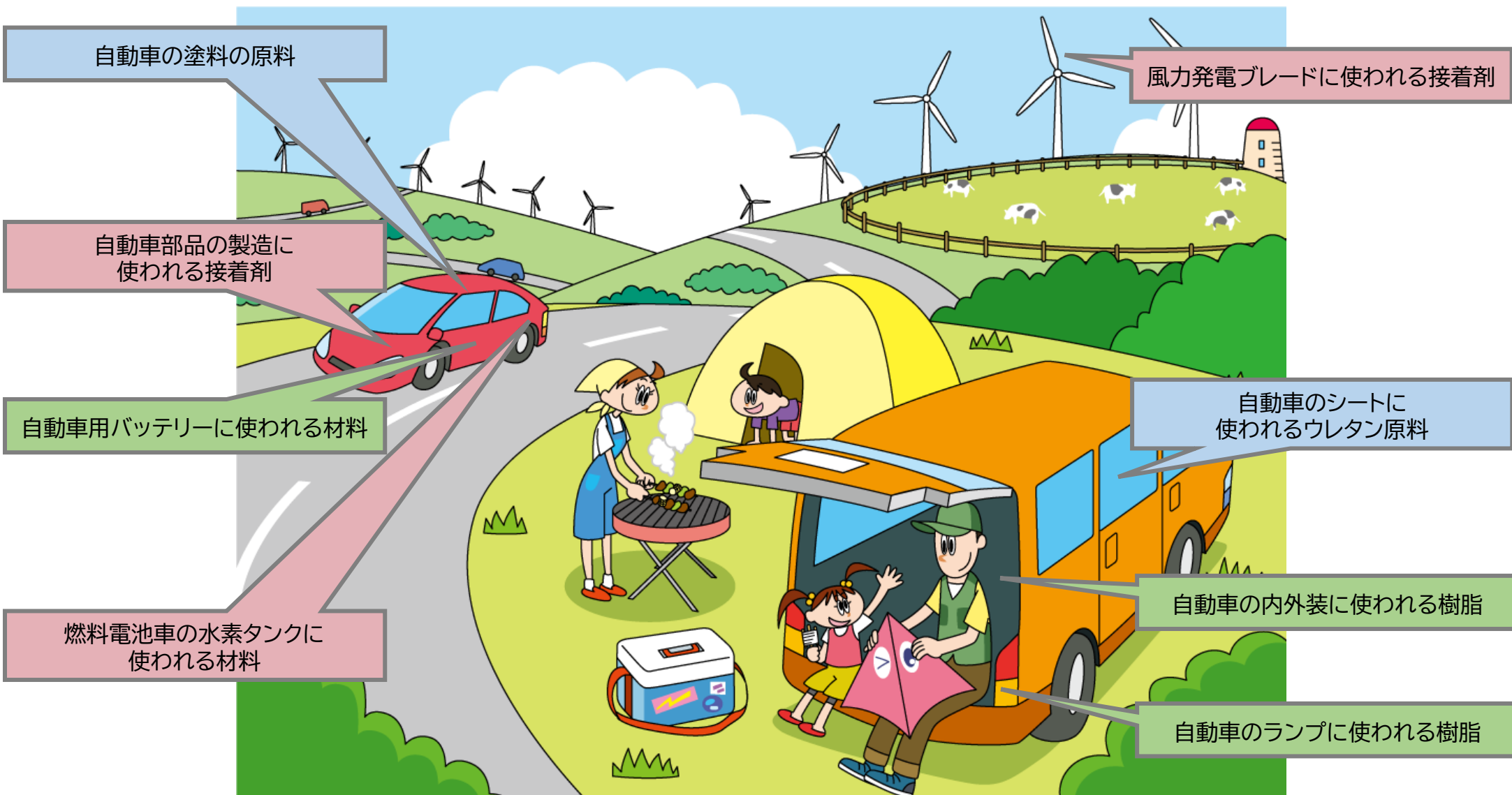
機能素材

加工材料

電子・エネルギー

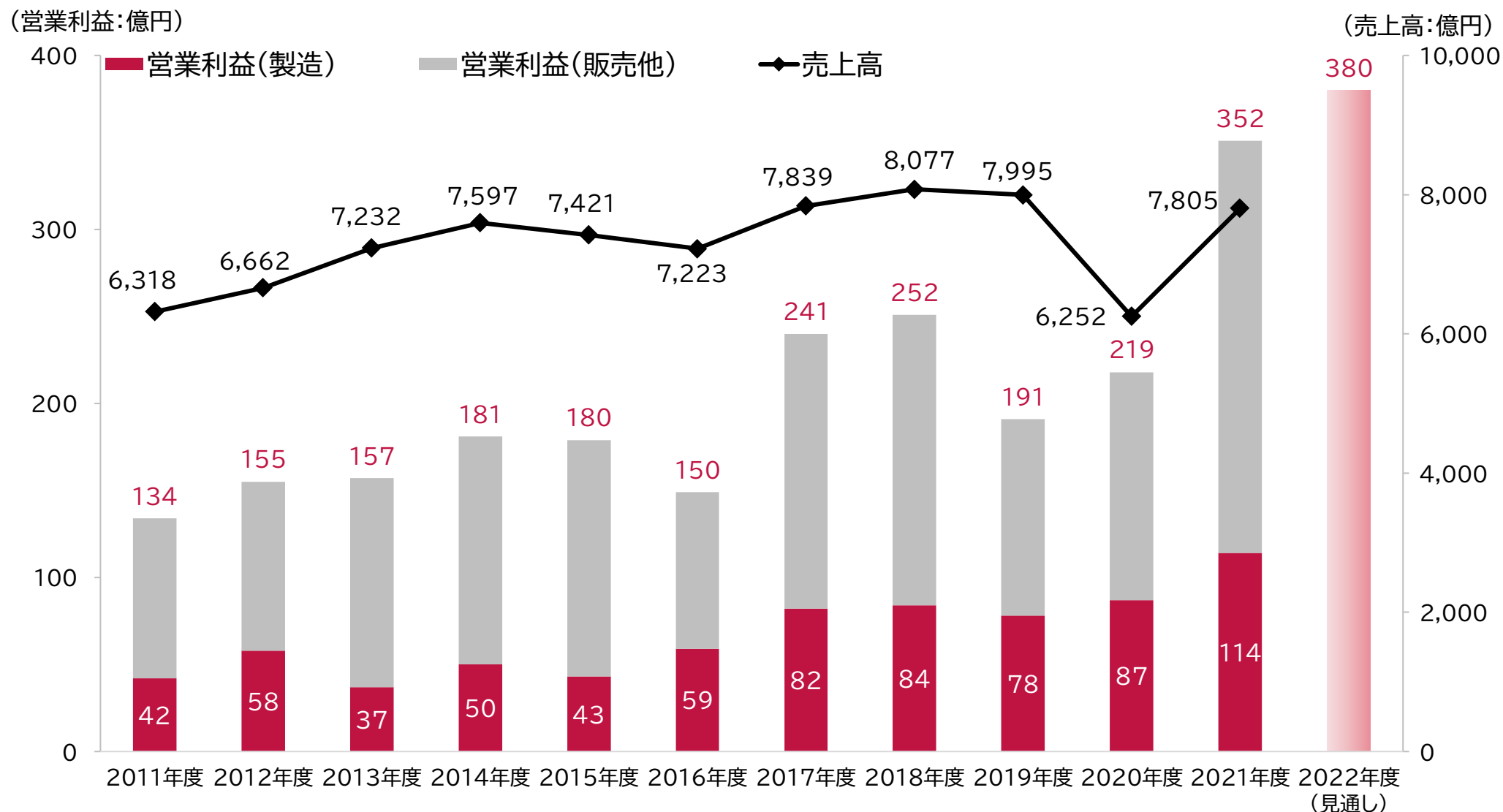
モビリティ

生活関連



業績の推移と見通し

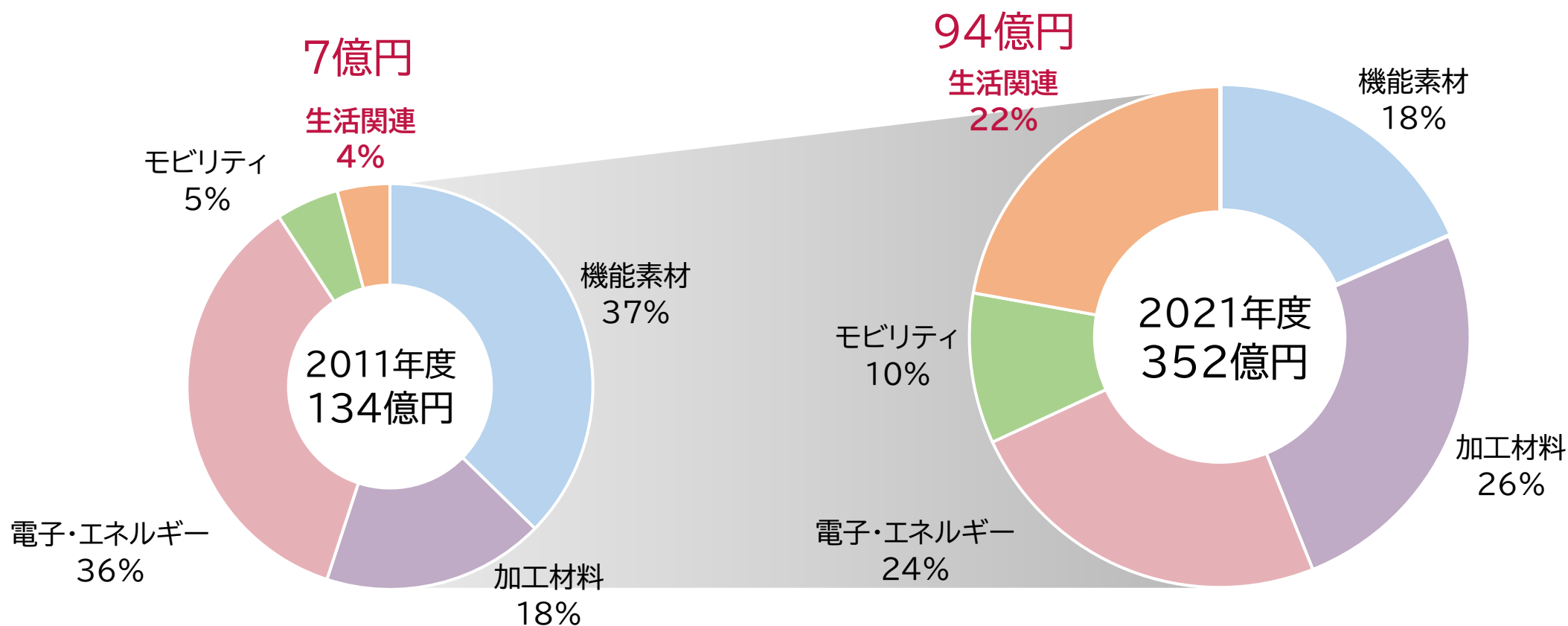
業績は順調に伸長し、2021年度、過去最高益を更新
製造業営業利益は10年で約3倍に増加



※2021年度期初より収益認識に関する会計基準を適用しており、2020年度の売上高も遡及適用した後の数値となっております。

セグメント別営業利益の変化

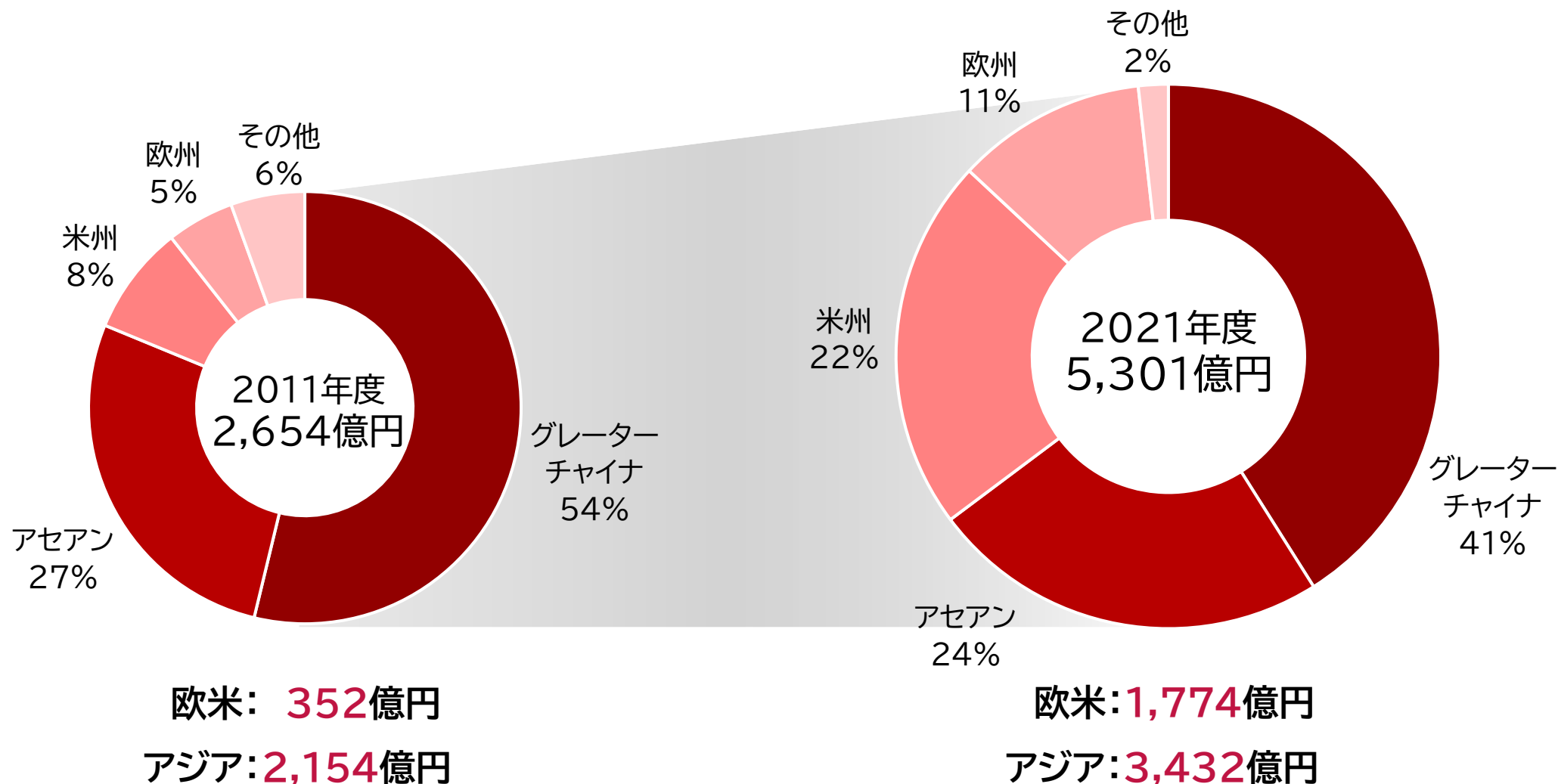
生活関連セグメントのビジネス拡充により、収益基盤を強化



※営業利益の構成比の計算において、その他・全社セグメントは含めておりません。

地域別海外売上高の変化

基盤であるアジアに加え、欧米での事業を大幅に拡大



※2011年度は仕向け地別での集計、2021年度は対象会社の所在地に基づく集計

1. 長瀬産業とは？
2. 成長戦略「中期経営計画 **ACE 2.0**」(2021-25年度)
3. 株主還元

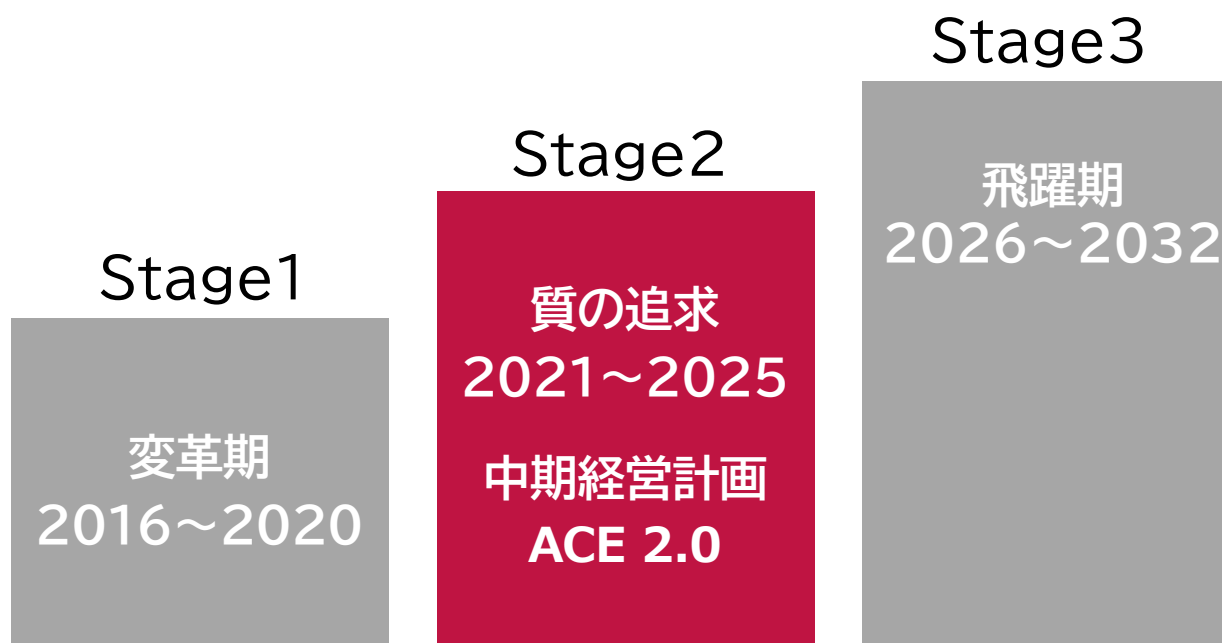
誠実に正道を歩む 社員の福祉向上 社会貢献

【経営理念】

社会の構成員たることを自覚し、誠実に正道を歩む活動により、
社会が求める製品とサービスを提供し、会社の発展を通じて、
社員の福祉の向上と社会への貢献に努める

NAGASEグループが実現したい社会
「人々が快適に暮らせる安心・安全で温もりある社会」

2032年(創業200年)のありたい姿
「温もりある未来を創造するビジネスデザイナー」



ACE 2.0 の基本方針

ビジネスをデザインするNAGASEへ

“質の追求”

すべてのステークホルダーが期待する“想い”を 具体的な“形”(事業・仕組み・風土)として創出する
“質” “追求”

収益構造の変革

“ありたい姿”に向けた収益基盤の構築

企業風土の変革

“ありたい姿”に向けたマインドセット

変革を支える機能

① DXの更なる加速 ② サステナビリティの推進 ③ コーポレート機能の強化

ACE 2.0 の定量目標

ROE8.0%以上、営業利益350億円の常態化を目指す

2020年度 実績

2021年度 実績
(ACE 2.0 初年度)

2025年度 目標

ROE

5.9%

7.7%

8.0%以上

営業利益

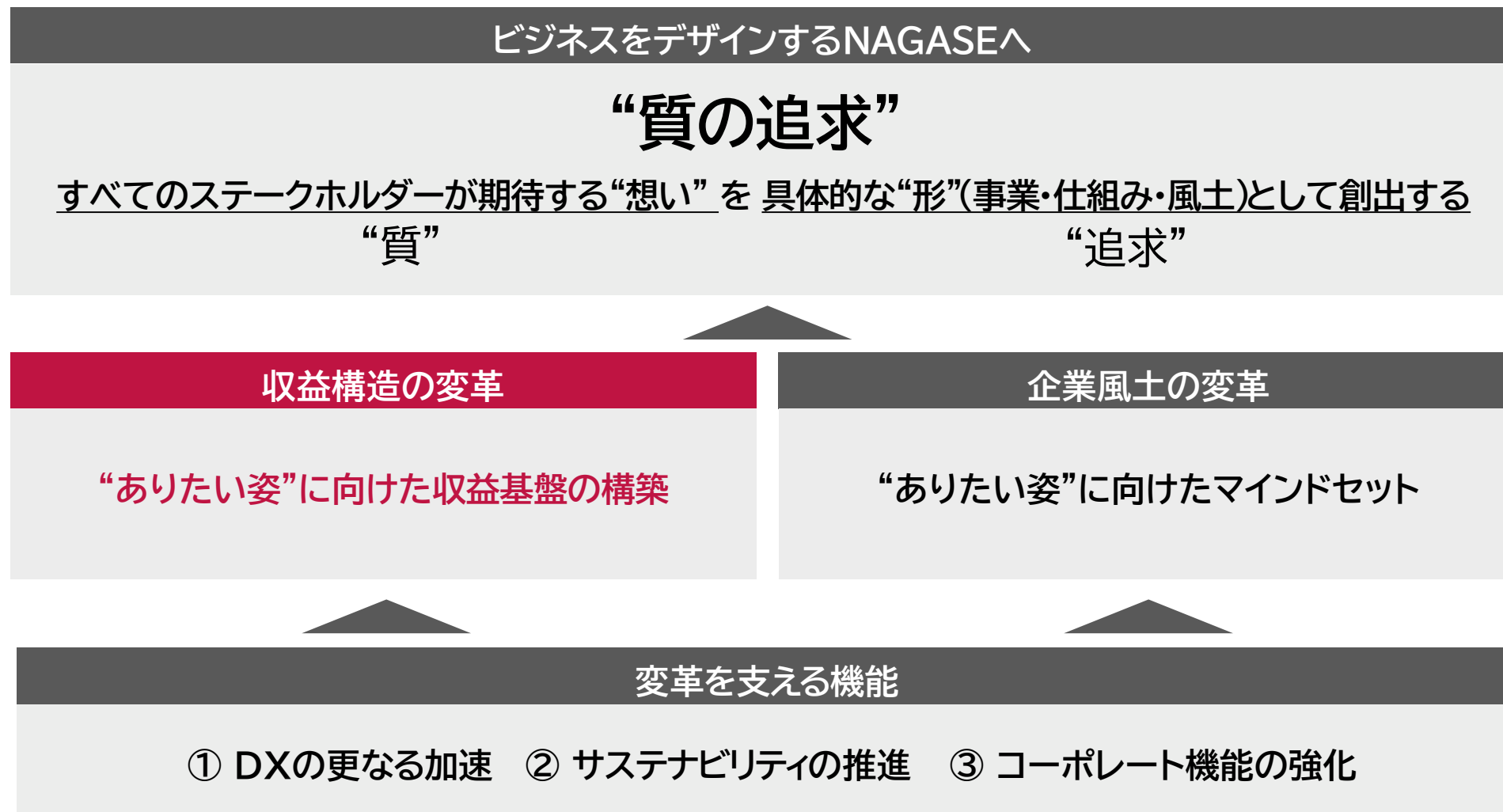
219億円

352億円

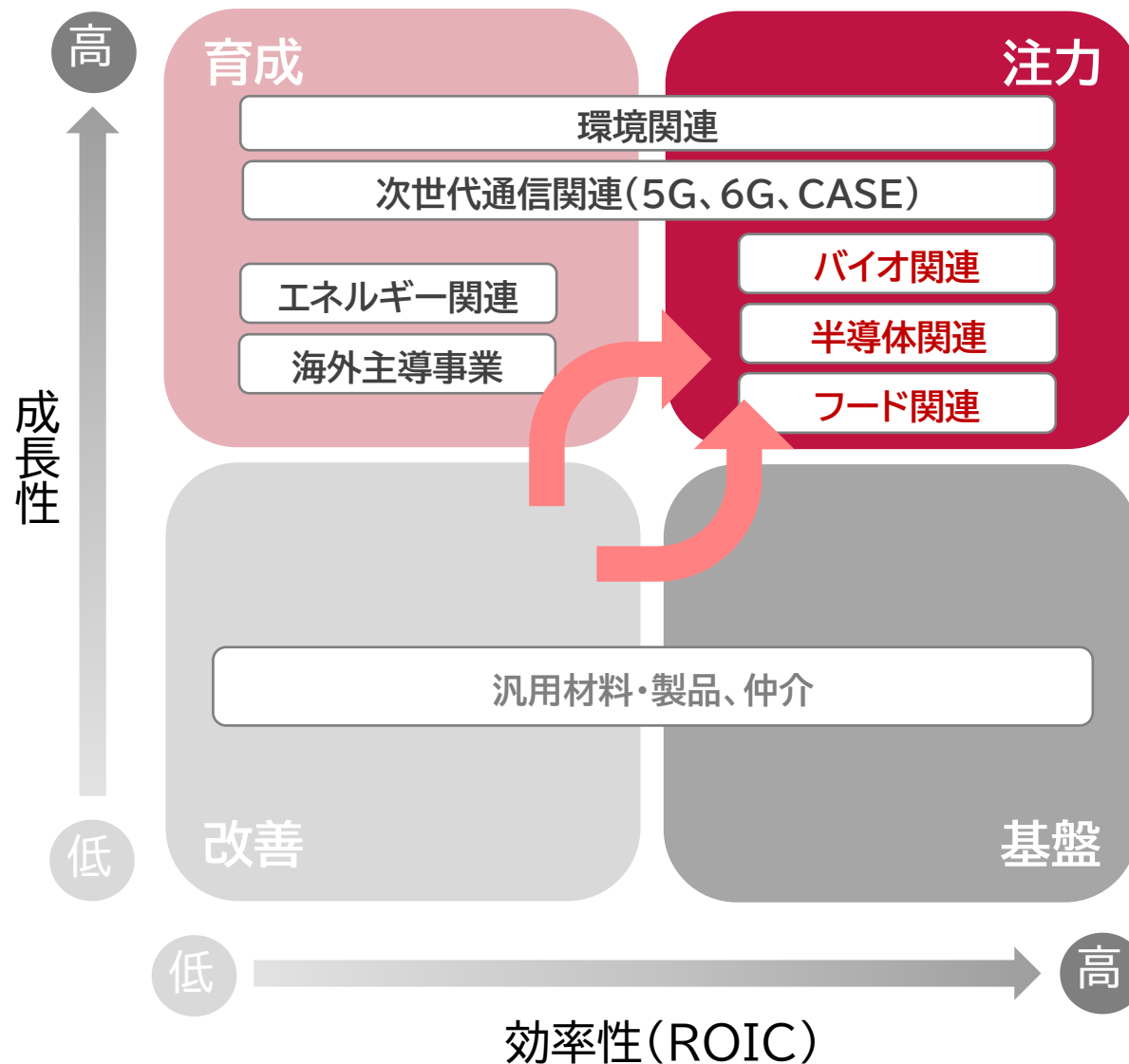
350億円

現在、2025年度の定量目標を見直し中

ACE 2.0 の基本方針



各事業を成長性と効率性の2軸4象限で分類
成長性・効率性が高い事業へリソースをシフト



植物や微生物などの自然由来の生物から
有用物質を作る環境に優しい生産プロセスを実現

NAGASEの強み

微生物・発酵生産物・酵素・酵素反応物の
研究開発・生産の要素技術を保有

お客様・パートナーとのネットワーク



ナガセバイオイノベーションセンター



ナガセケムテックス



林原



※2023年4月1日にナガセケムテックスの生化学品事業は林原に統合予定

具体的な取り組み

酵素を用いた生産プロセスで世界初の大量生産を実現

トレハロース(製品名:トレハ®)

トレハロースは自然界に存在する糖質
林原は世界で初めてでん粉に酵素を作用させてトレハロースを
大量生産する技術を開発

トレハ®の特徴は？

✓低甘味 ✓着色しにくい ✓安定性に優れる(耐酸・耐熱性)



トレハ®なし

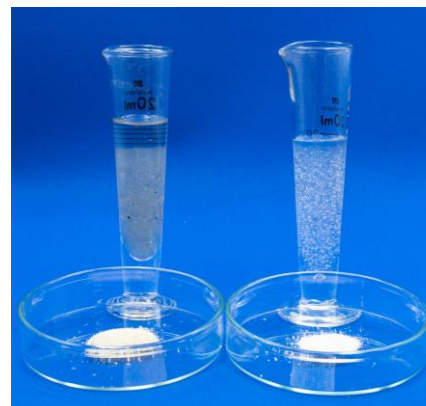
トレハ®あり

天然由来の高吸水性ポリマーの開発に成功

✓高い吸塩水性能を実現
石油由来品と同等レベル、他社の生分解性SAPの6倍超

高吸水性ポリマー(SAP)とは？

高い吸水性能を有する高分子材料で、紙おむつや、農業、
緑化分野や化粧品など幅広い分野で使用されている。
石油由来品が主流で、環境負荷が大きいことが課題



他社の生分解性 SAP(左)と
開発品(右)の吸水性の比較



※2023年2月1日プレスリリースより

技術力とネットワークを活用し、新ビジネスを創造

NAGASEの強み

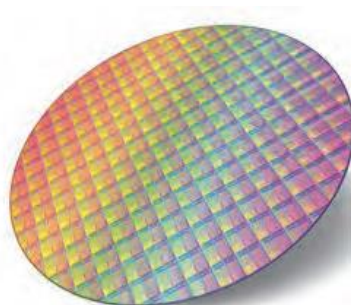
商社としての材料調達能力に加え、メーカーとしての技術力・開発力を背景とした高い提案力

各種原料から、幅広いアプリケーションまで半導体に関わる多くの顧客と取引があることで
サプライチェーン全体での情報共有・連携が可能

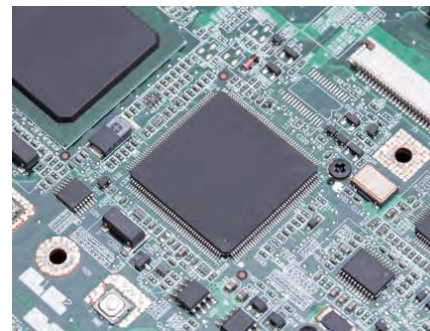
各種原料



前工程



後工程



アプリケーション



Prinovaグループの高い調達力とグローバルな供給力、
林原・ナガセケムテックスの自社素材を活かしさらなる事業拡大を図る

NAGASEの強み

Prinovaグループの調達力、欧米販売ネットワークと高付加価値事業

林原・ナガセケムテックスの自社素材と用途提案力

NAGASEグループの海外ネットワーク

Prinovaグループ



ナガセケムテックス



林原



※2023年4月1日にナガセケムテックスの生化学品事業は林原に統合予定



Prinovaグループの会社概要

原材料の調達、配合とフレーバーに関する提案力や、
スポーツニュートリション分野での経験とネットワークなどで高い優位性を持つ

会社概要

- ▶ 創業:1978年
- ▶ 所在地:米国イリノイ州
- ▶ 売上高:1,209億円
(2021年12月期)
- ▶ 従業員数:1,032名
(2021年12月末)
- ▶ 製造拠点:
米国(6)、英国(1)、中国(1)
- ▶ 販売拠点:
米国、英国等 11カ国

Flavors



製造

飲料、機能性食品向けアプリケーション

Armada



栄養食品開発、製造ソリューション

スポーツニュートリション

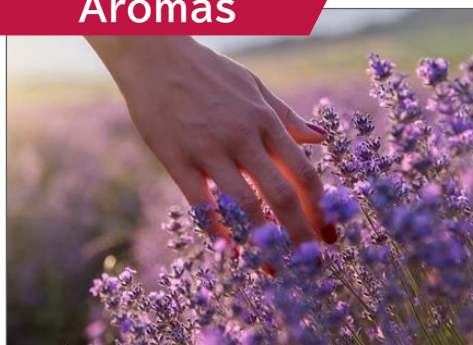
Solutions



配合品(Premix)・微細加工(OEM)

飲料、タブレット、食品向けアプリケーション

Aromas



ディストリビューション

アロマ、エッセンシャルオイルズ

Ingredients



ディストリビューション

2,000品目以上の素材

スポーツニュートリションとは

米国ではマーケットが細分化され、利用ユーザー層も幅広い

製品イメージ



商品形態による分類

- ・パウダー
- ・カプセル、タブレット
- ・ドリンク

含有成分による分類

- ・タンパク質
- ・Non-タンパク質 等

使用シーン

プレ・ワークアウト

- ・トレーニング前に身体を運動に適した状態にするために摂取
(一般的な成分: アミノ酸等)

イントラ・ワークアウト

- ・トレーニング中にエネルギー不足にならないように摂取
(一般的な成分: 糖質、水分等)

ポスト・ワークアウト

- ・トレーニング後にトレーニング効果、回復効果を高めるために摂取
(一般的な成分: タンパク質、アミノ酸、糖質等)

ユーザー層



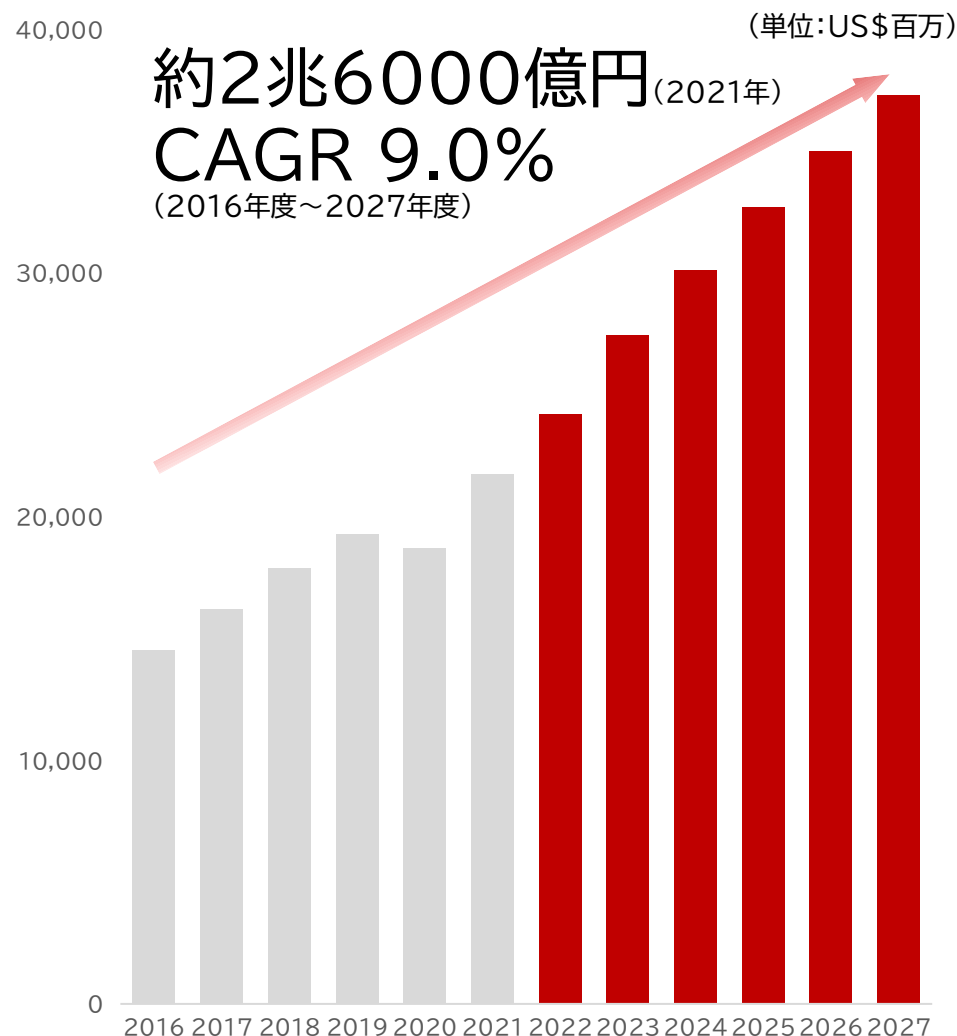
一般生活者/スポーツ愛好家・ウィークエンドアスリート
(競技人口: 中～大 × 摂取頻度・量: 中～大)

プロフェッショナル/ボディビルダー・スポーツ選手等
(競技人口: 少 × 摂取頻度・量: 大)

スポーツニュートリションの市場規模

スポーツニュートリション市場はグローバルで伸長していく見通し

グローバル 市場規模



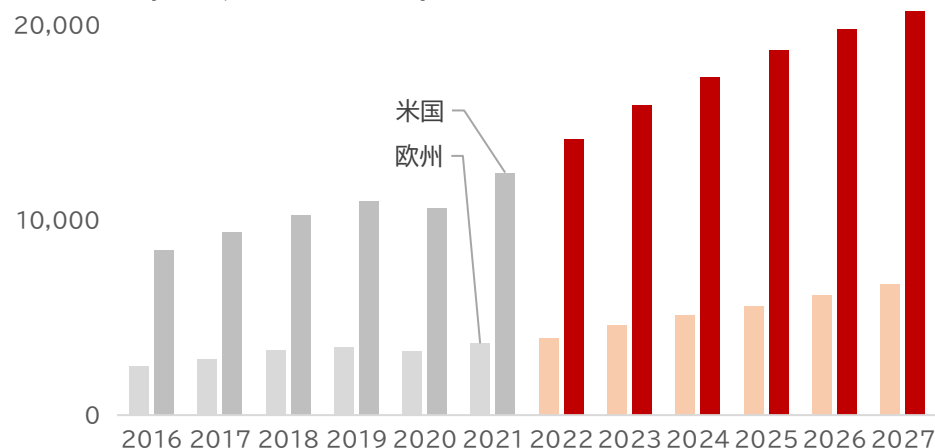
米国・欧州 市場規模



米国市場規模

約1兆5000億円 (2021年)

(単位:US\$百万)



アジア・日本 市場規模

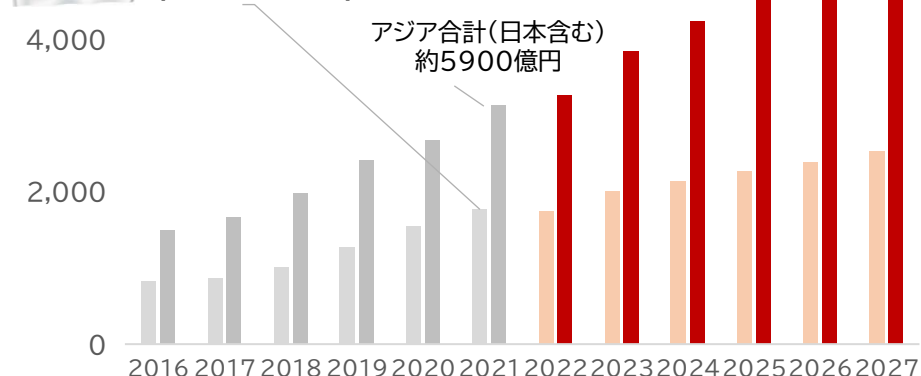
(単位:US\$百万)



日本市場規模

約2100億円 (2021年)

アジア合計(日本含む)
約5900億円



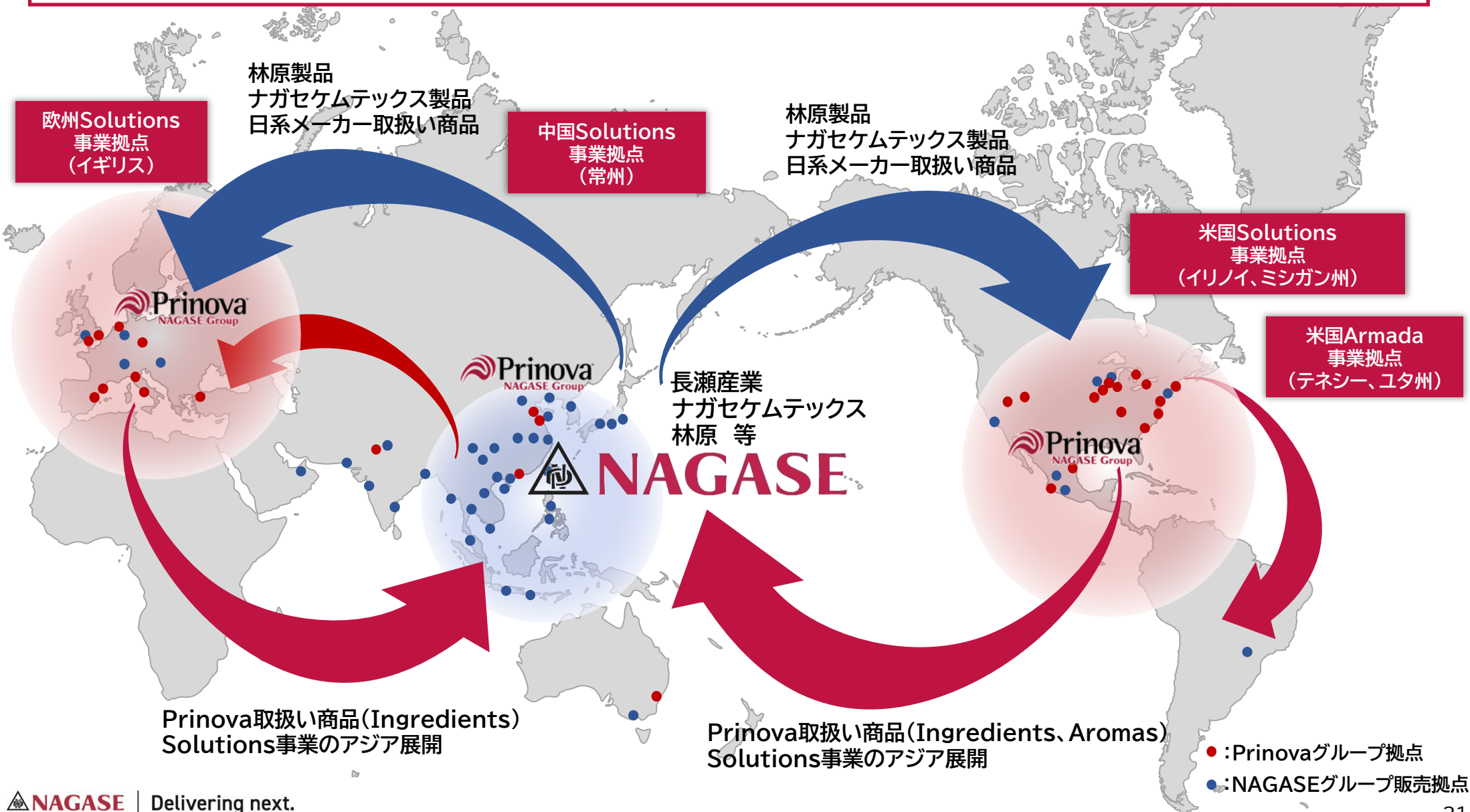
※出展:Euromonitor

※グローバル、欧州およびアジア市場規模については、一部地域を除く

※1US\$=120円で換算

グローバル市場でのビジネス拡大

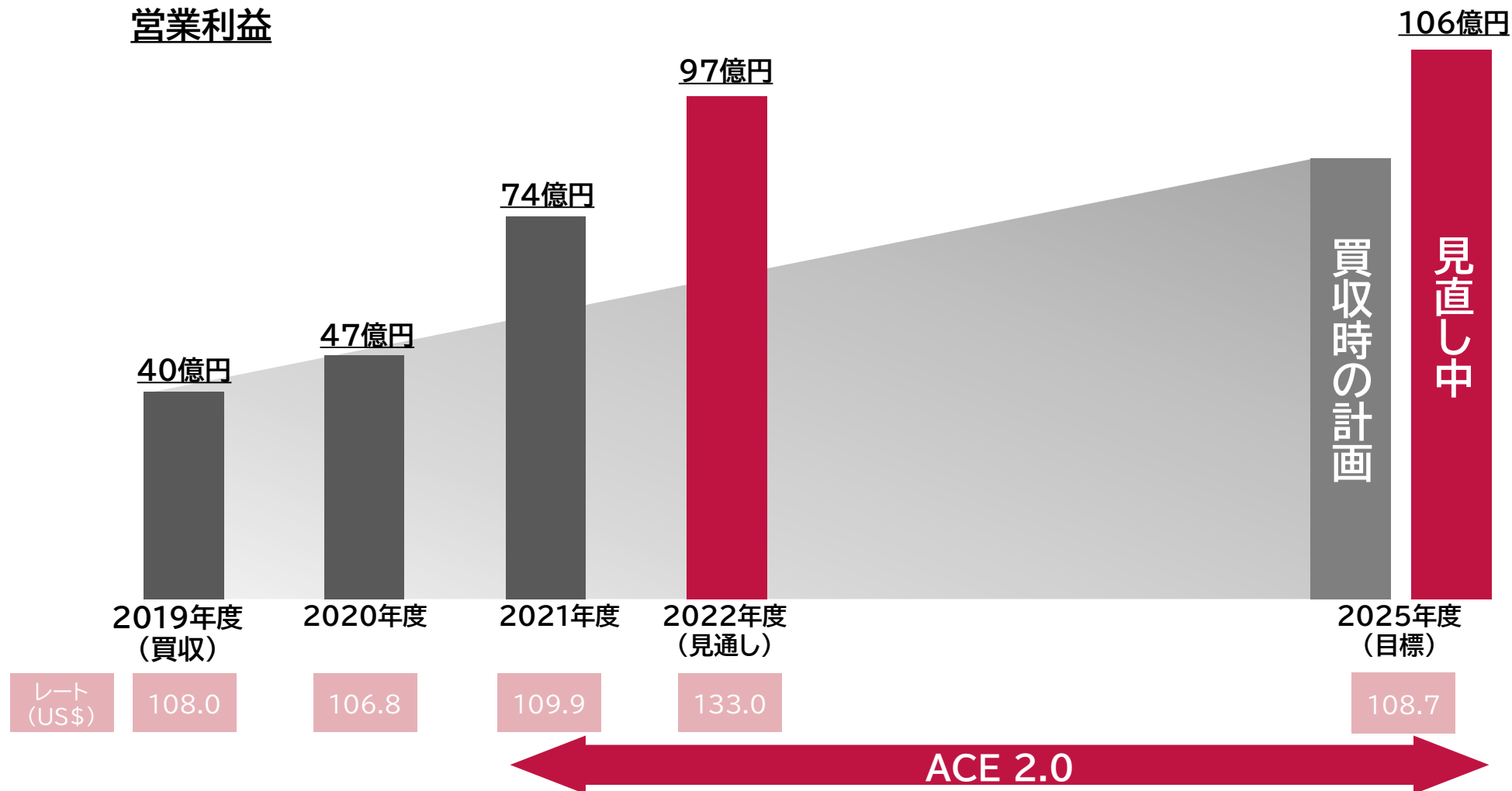
NAGASEグループとPrinovaグループの調達力・販売力を活かし、
グローバルにビジネスを拡大



Prinovaグループの計数計画

ACE 2.0 期間中に、営業利益100億円超を目指す(2020年度比 226%)
2022年度:営業利益を97億円と見通しており、買収時の計画を3年前倒しで達成見込み

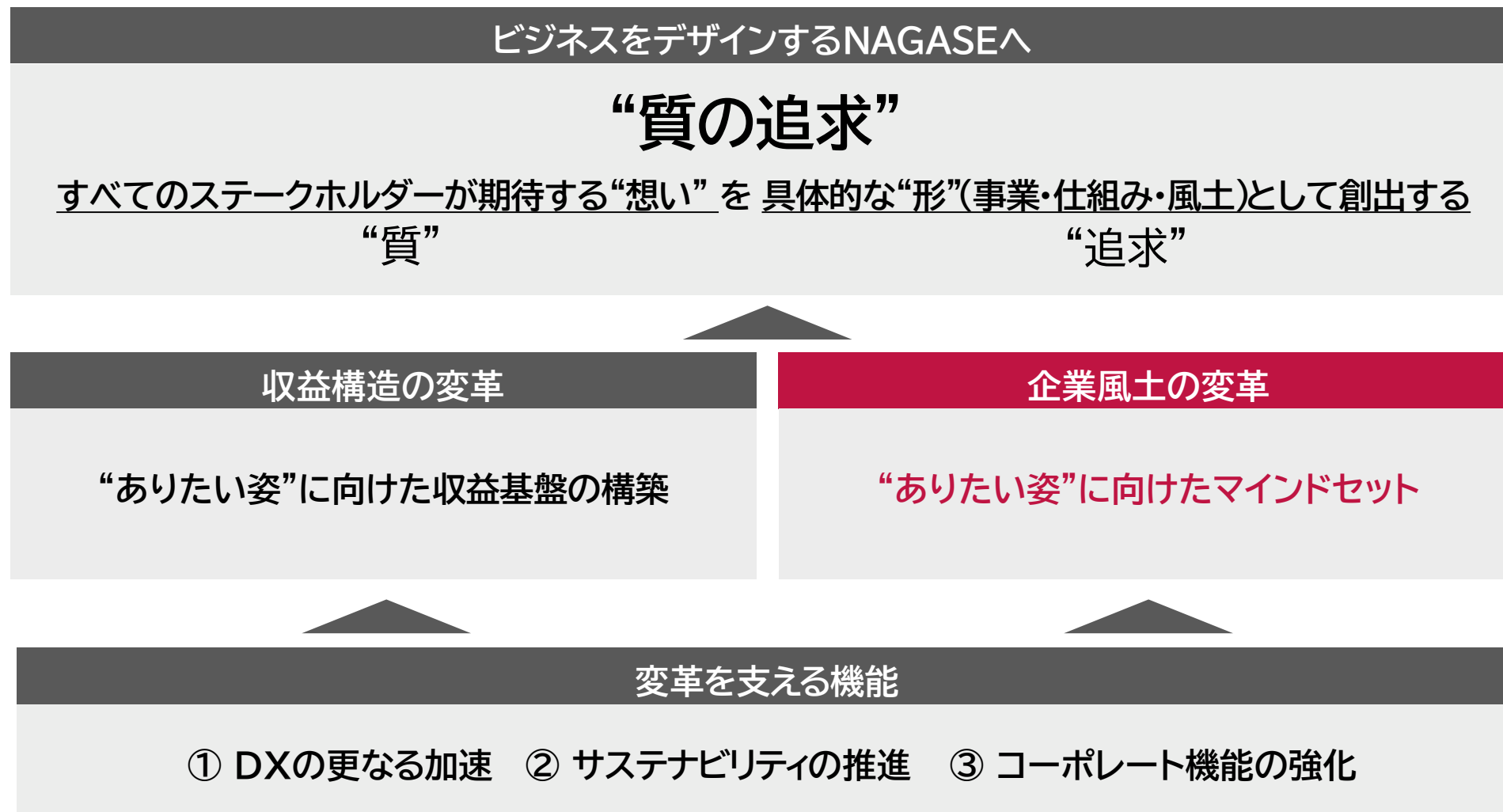
営業利益



※上記数値はPrinovaグループの業績となり、連結時に発生するのれん等の償却費は含みません。

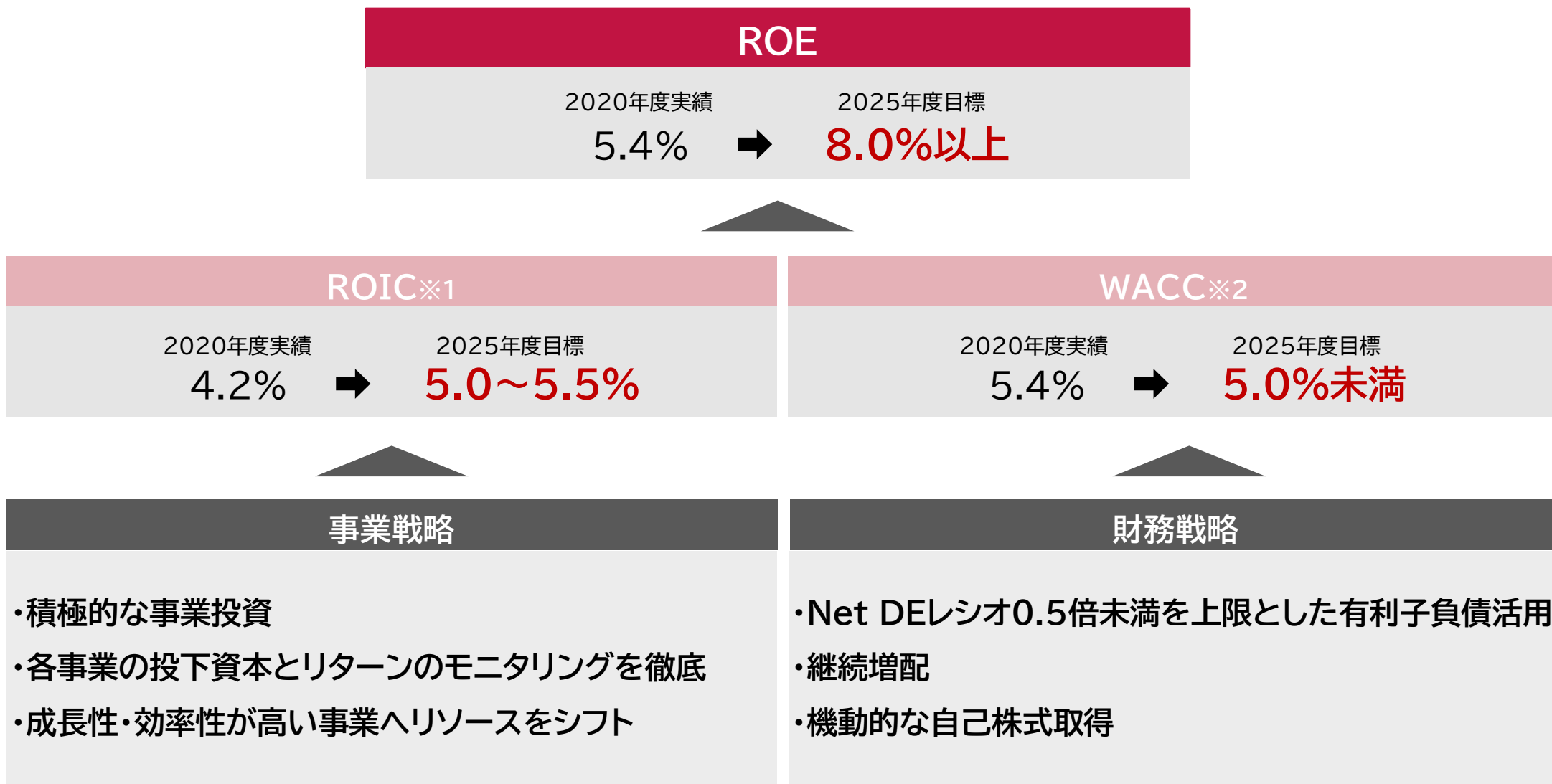
※2019年度営業利益:M&A関連の特殊経費除く

ACE 2.0 の基本方針



企業風土の変革 - 資本効率性向上への取り組み -

2025年度までにROE8.0%以上、ROIC>WACCを実現



※1:親会社に帰属する当期純利益/投下資本期中平均*100

※2:WACCを構成する株主資本コストは、CAPMをベースとした当社独自の計算方法によるもの

従業員の活躍が持続的成長に不可欠であると考え、
従業員エンゲージメント向上プロジェクトを始動

従業員エンゲージメント

「会社(組織)と従業員が相互に理解し合い、お互いを高め合う状態」

ACE 2.0 非財務目標(～2025年度)

グループ会社

● 定期的にエンゲージメントサーベイを実施している割合:100%

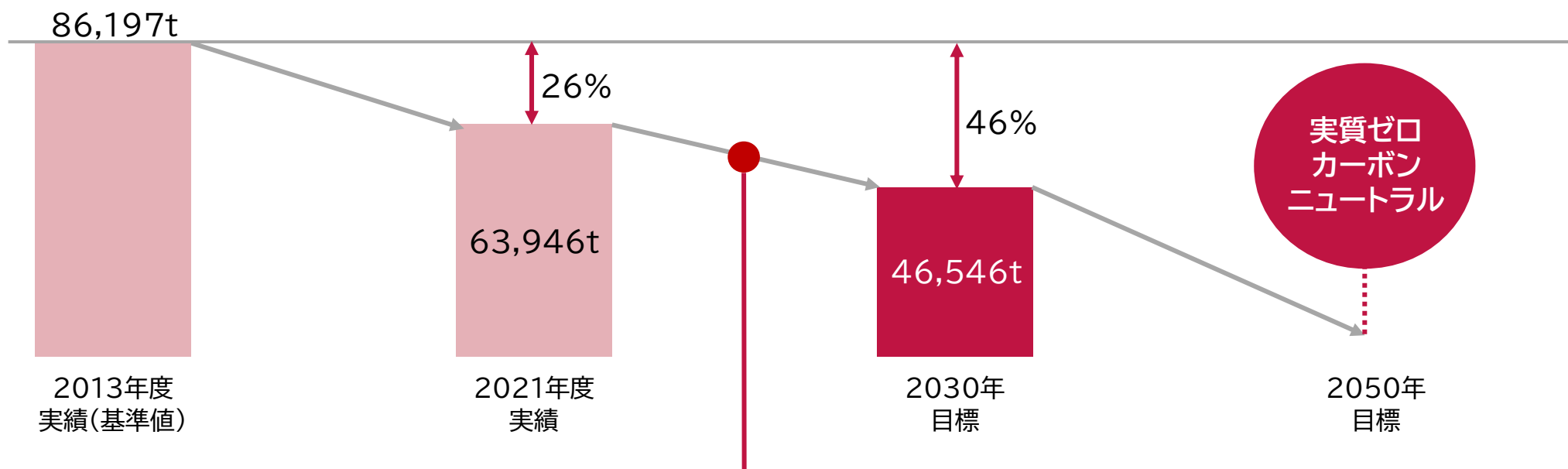
長瀬産業(単体)

● エンゲージメントサーバイータルスコア:60以上
(2021年度のスコア:52.4)

企業風土の変革 - カーボンニュートラル達成への取り組み -

気候変動への対応を重要な課題と認識し、カーボンニュートラルプロジェクトを始動

温室効果ガス排出量の実績と目標(Scope1,2)



ACE 2.0 非財務目標(～2025年度)

連結

- Scope1,2削減率:37%以上(2013年比)
- 再生可能エネルギー発電・購入による削減量:35,000t以上(累計)

長瀬産業(単体)

- Scope2:ゼロエミッション

Scope1:直接的な温室効果ガス排出量
Scope2:間接的な温室効果ガス排出量

1. 長瀬産業とは？
2. 成長戦略「中期経営計画 ACE 2.0」（2021-25年度）
3. 株主還元

株主還元方針

13期連続増配見込み、自己株式の取得も機動的に実施

株主還元方針
(ACE 2.0)

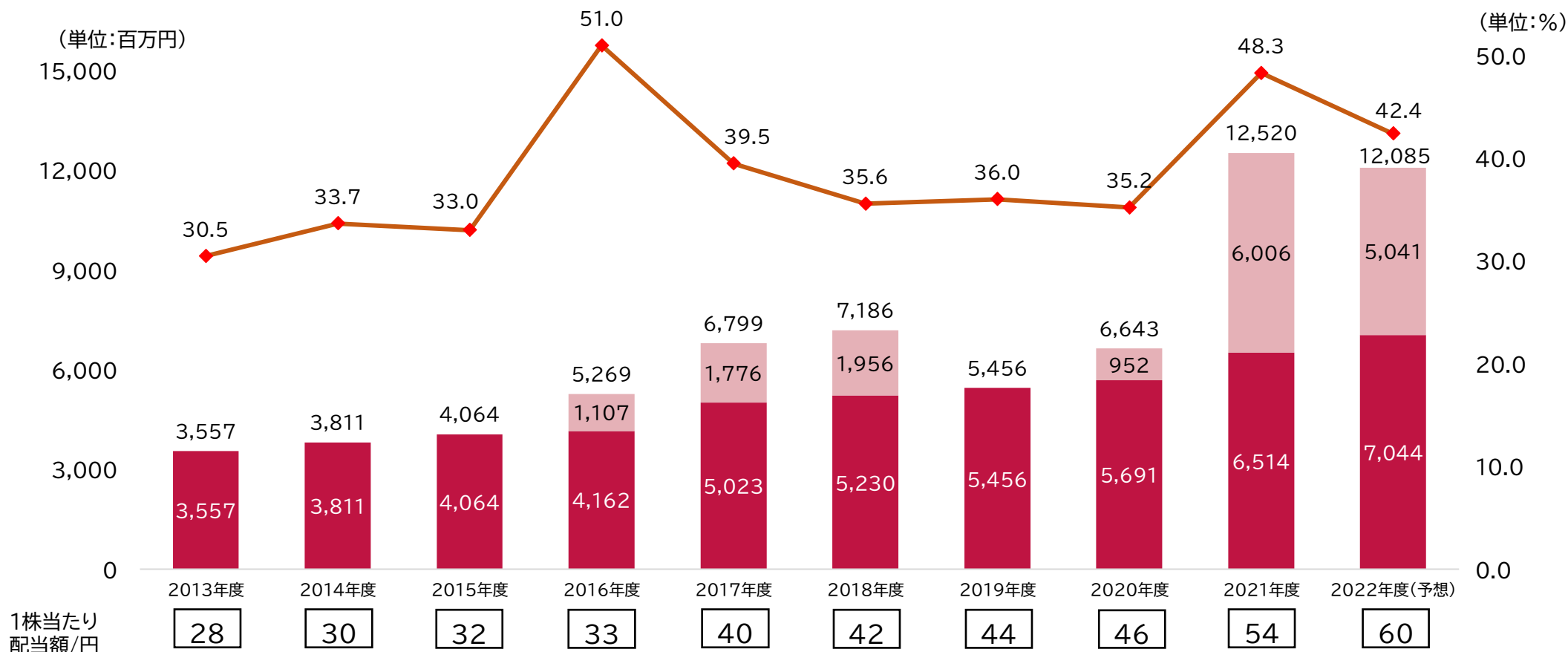
配当

継続増配

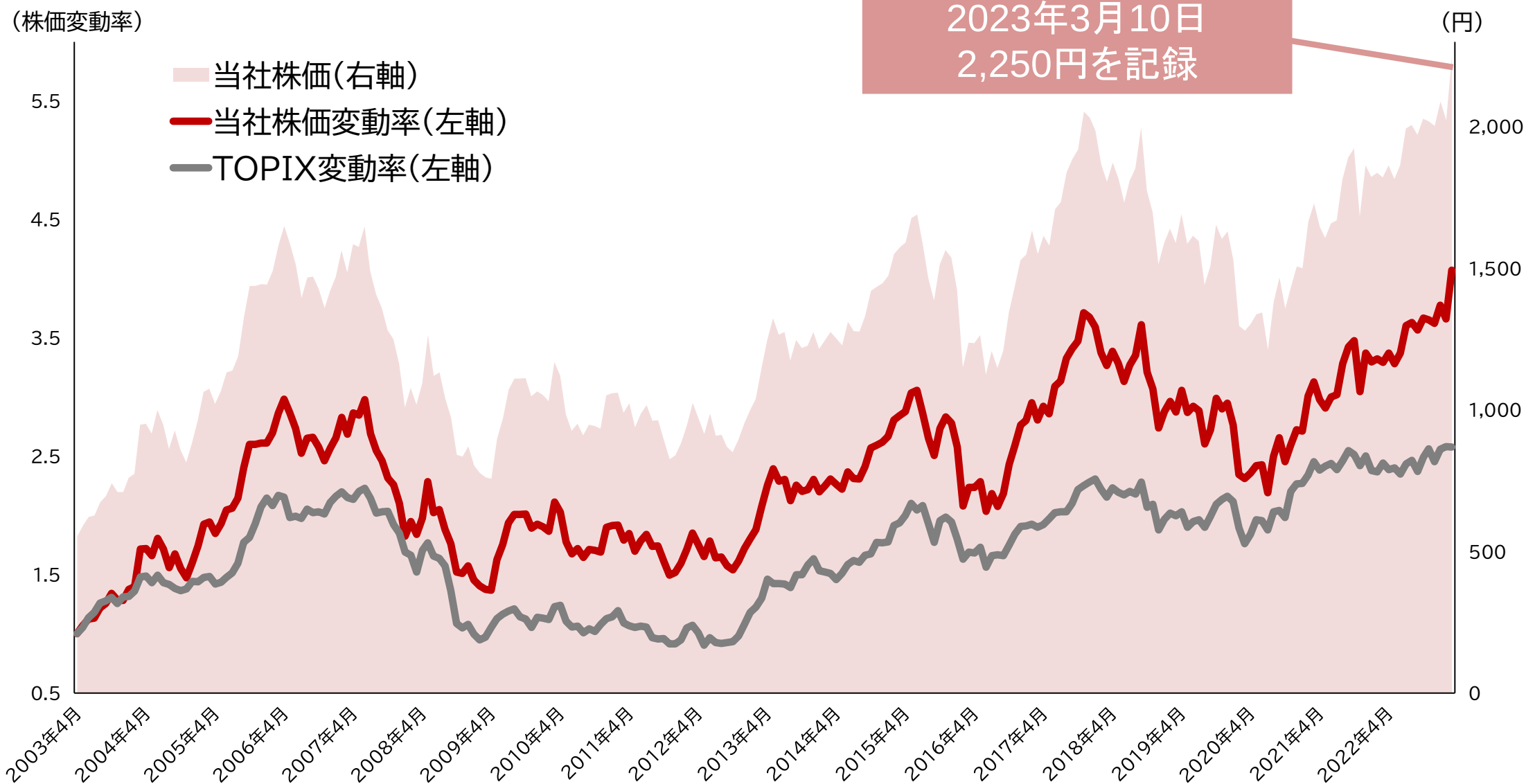
自己株式の取得

機動的に実施

■ 配当総額 ■ 自己株式取得 ◆ 総還元性向



2023年3月上場来最高値を更新、TOPIXをアウトパフォーム



社会貢献活動

アスリートへの支援、次世代を担う人材の育成を通じて社会への貢献に努める

社会貢献活動 アスリート支援



ブラインドランナー 和田伸也選手、長谷部匠選手(伴走)

主な取り組み

- ブラインドランナー 和田伸也選手、長谷部匠選手の支援
- 「日本ブラインドマラソン協会」の活動支援
- 各種スポーツクラブとのスポンサー契約
- 「WPA公認 NAGASEカップ パラ陸上競技大会」初開催

社会貢献活動 専門人材の育成



国際化学オリンピック日本大会2021

<https://www.icho2021.org/jp/>

主な取り組み

- 長瀬科学技術振興財団を通じた研究開発助成
- 「国際化学オリンピック日本大会2021」への協賛

本日のまとめ

商社機能に加え、製造・研究・DXなどの機能を
掛け合わせてパートナーとともに事業を創り出すビジネスデザイナー

電子機器、自動車、化粧品、医薬用途向け等の幅広い化学品の取り扱いに加え、
注力事業として、バイオ関連事業、半導体関連事業、フード関連事業を展開

フード関連事業では、成長性の高いスポーツニュートリション市場において
Prinovaグループの利益を拡大

持続的成長のため、資本効率性向上に加え、従業員エンゲージメントの向上、
カーボンニュートラルの達成に向けた取組みを推進

月夜にふさわしい
景色へ。



■お問合せはこちらから

<https://www.nagase.co.jp/contact/>

■当社ウェブサイト 投資家情報ページ

<https://www.nagase.co.jp/ir/>

当プレゼンテーション資料には、2023年3月29日時点の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替変動等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。